

総合評価審査委員会の現地検討会を開催しました。



国土交通省 北陸地方整備局
富山河川国道事務所
Toyama Office of River and National Highway

◆10月7日(火)に富山ブロック総合評価審査委員会【※1】の委員のうち、4名の委員のご出席をいただき、立山砂防事務所管内で無人化施工技術を活用し、現在施工中の「H26 有峰地区溪岸対策(二の谷)工事」の工事現場において、現地検討会を実施しました。

現地検討会は、総合評価方式で契約を締結した工事について、その提案等の内容が現地でどのように施工され、工事の品質向上に活かされているかなどについて視察いただき、今後の総合評価方式における技術提案の審査・評価に反映していくために実施したものです。

この工事は、去る7月23日に開催した平成26年度第1回委員会で審議をいただいた案件の一つであり、現地検討会では、「砂防堰堤のコンクリート施工に関する留意点とその対応策」に関し提案された内容についての施工状況、施工中の課題に対する対策などについて、参加いただいた委員の皆様にご確認いただきました。

【※1】

富山河川国道事務所、黒部河川事務所、立山砂防事務所、神通川水系砂防事務所、利賀ダム工事事務所の5事務所で発注する工事・業務について、総合評価方式における技術提案の審査・評価を中立かつ公平に行うため、学識経験者による富山ブロック総合評価審査委員会を設置している。今年度は、委員7名で構成しています。



作業現場全景



型枠ブロックの組み立て状況



無線操作室